

10月報道資料

八千代市

1. 件名

市長との対話を生かした主権者教育の実施について

2. 内容（目的、日時、場所、特徴等）

1. 目的

- ・市長との対話を通じて地域の課題を多面的・多角的に考え、自分の考えを振り返ることで、生徒の社会に対する見方や考え方を深める。
- ・一市民として地域社会に参画する意識を持ち、地域の課題を自分事として捉え、より良い社会づくりに関わる。

2. 日時

令和7年10月27日（月）午後1時45分～2時35分

3. 場所

八千代市立高津中学校 体育館

4. 対象

八千代市立高津中学校 第3学年

5. 方法

市長と生徒の対話（生徒から地域の課題を提案し、市長から回答をもらう。）

6. 取材の範囲

代表生徒であれば撮影可

※前日までには代表生徒には同意書を取ります。許可が取れなかった代表生徒については当日お伝えいたします。

3. 過去・現在及び今後の展開

事前学習：地域の課題把握・提案資料作成【社会科・総合的な学習の時間】

↓

市長との対話

↓

事後学習：ふりかえり・まとめ【社会科】

4. 添付資料

あり

5. 主催・共催者名

八千代市立高津中学校教諭・奥山大地

6. 問い合わせ先（住所、電話、担当課等）

八千代市教育委員会指導課 課長 加藤 英昭 （担当：清水）

住所：八千代市大和田新田 138-2

電話：047-481-0301（内線：6222）

市長との対話を生かした主権者教育の実施について

1. 目的

- ・市長との対話を通じて地域の課題を多面的・多角的に考え、自分の考えを振り返ることで、生徒の社会に対する見方や考え方を深める。
- ・一市民として地域社会に参画する意識を持ち、地域の課題を自分事として捉え、より良い社会づくりに関わる。

2. 趣旨

文部科学省が行った「令和4年度主権者教育（政治的教養の教育）実施状況調査」では主権者教育に関する課題として「主権者教育＝18歳選挙権ばかりが強調されすぎている。投票行動を促すことはもちろん重要であるが、主権者教育の本来の意義である、社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の構成員の一人として主体的に担うことができる力をどのようにして身に付けさせていくか、バランスの取れた主権者教育を計画的に実施していかなければならない」等があげられている。しかしながら「主権者教育」については、高等学校段階での実践はあるが、義務教育段階における実践はわずかである。そこで義務教育段階においても、「主権者」あるいは「多様な個性・能力を活かして活躍する自立した人間」として、適切な判断・意思決定ができ、社会参画をしようとする力を身に付けるための素地を養うために、本単元の授業を実施する。

3. 日時

令和7年10月27日（月）午後1時45分～2時35分

4. 場所

八千代市立高津中学校 体育館

5. 対象

八千代市立高津中学校 第3学年

6. 方法

市長と生徒の対話（生徒から地域の課題を提案し、市長から回答をもらう。）

7. 流れ

事前学習：地域の課題把握・提案資料作成【社会科・総合的な学習の時間】

↓

市長との対話

↓

事後学習：ふりかえり・まとめ【社会科】